



WCRP・IARF学習会

ウクライナ危機の打開に向けて

～様々な信仰を持つ市民の行動と連帯～

2022年4月9日（土）14:00～16:30

オンライン

開催趣旨

ロシア軍の侵攻に始まったウクライナ危機は、多くの犠牲者を生み出し、人々に深い悲しみと苦しみを与えております。罪のない人々にむごたらしい暴力がふるわれ、かけがえのない命が奪われています。かろうじて生き残った人々も家を奪われ、生きるに過酷な環境の中での生活を余儀なくされ、また暴力を目の当たりにした子供たちは心身に深い傷を負っております。

暴力は、一向に止む気配はありません。現在、国際社会の様々な外交努力が懸命に行われ、世界の多くの場所で平和を願う市民の懸命な声がたえず発信されておりますが、未だ戦争を止めるに至っておりません。

このような現状のなかで、私たち信仰を持つ市民は何を為すべきでしょうか。私たち一人ひとり、どのような行動を起こすべきでしょうか。

平和的解決に向けた対話の呼びかけ、各国における政治指導者との協議、SNSを通じた平和アピールの発信、人道支援のための財的支援、そして戦争終結に向けた祈りの結集など、まだ私たちができることがあるはずです。

この度の学習会は、ウクライナ危機を目の当たりにした、地球上で共に生きる一人の市民として、そして一人の信仰を持つ市民として、緊急的に必要とされる行動について学び合うものです。そのために、学習会では、最初にウクライナ危機の現状や和平に向けての国際社会の対応について学習します。その上で、この危機への当事者意識に立ち、困難な状況に絶望するのではなく、私たち一人ひとりが実施できる具体的な行動について真摯に話し合いたいと思います。

プログラム（敬称略）

- 14:00 開会
平和の祈り（黙祷）
開会挨拶：黒住宗道（WCRP日本委員会理事・黒住教教主）
- 14:08 講演者紹介：神谷昌道（アジア宗教者平和会議シニアアドバイザー）
- 14:13 講演「ウクライナ危機への国際社会の対応と市民の役割」
植木安弘（上智大学大学院グローバル・スタディーズ研究科教授）
- 15:03 休憩
- 15:13 ウクライナからの動画報告
寺沢潤世（日本山妙法寺僧侶）
導入：寺沢邦彦（ワートバーグ大学准教授）
- 15:28 諸宗教パネルからの応答
【パネリスト】
田中常隆（WCRPジャパニーズトラスティーズ代表）
杉野恭一（前WCRP国際委員会副事務総長）
杉山利予（IARF日本チャプター）
【コーディネーター】
篠原祥哲（WCRP日本委員会事務局長）
- 15:52 フロアからの代表質問
坂本佳子（WCRPジャパニーズトラスティーズ）
大村高嗣（IARF日本チャプター）
藤林宏之（WCRPジャパニーズトラスティーズ）
渡邊晃子（IARF日本チャプター）
- 16:12 フロアからの一般質問
- 16:25 挨拶：酒井教雄
（WCRPジャパニーズトラスティーズ創設者・IARF日本チャプター委員長）
- 16:30 閉会

講師プロフィール



うえき やすひろ

植木 安弘

1976年上智大学外国語学部ロシア語学科卒。コロンビア大学大学院で国際関係論修士号、博士号取得。1982年より国連事務局広報局勤務。1992-94年日本政府国連代表部（政務班）。1994-99年国連事務総長報道官室。1999-2014年広報局、戦略広報部勤務。ナミビアや南アフリカで選挙監視活動、東チモールで政務官兼副報道官、イラクで国連大量破壊兵器査察団バクダッド報道官、津波後のインドネシアのアチェで広報官なども勤める。2014年から上智大学総合グローバル学部教授、2019年から大学院グローバル・スタディーズ研究科教授で同研究科国際協力学専攻主任、上智大学国際関係研究所副所長、人間の安全保障研究所所員。主な著書に『国際連合—その役割と機能』（日本評論社、2018年）など。

アンケートご協力ください！



<https://forms.gle/vfpLx1mZo9GvAPqK9>

学習会終了後、上記URLまたはQRコードからアンケートにご協力ください。

 **共 催：**（公財）世界宗教者平和会議（WCRP）日本委員会
WCRPジャパニーズトラステーズ
国際自由宗教連盟（IARF）日本チャプター
 **後 援：**（一社）アジア宗教者平和会議（ACRP）東京

 **事務局：**（公財）世界宗教者平和会議（WCRP）日本委員会
TEL：03-3384-2337 FAX：03-3383-7993
WEB：<https://www.wcrp.or.jp>